

trinite

これはプログレッシブ・ロックの和製進化形なのか？現代音楽とロマン派のハイブリッドなのか？映像がないのに映画的存在であること、俳優がないのにドラマがあること。それが世界が認めたトリニテの音楽だ。斬新でノスタルジック、魅力溢れるメロディーが醸し出す豊かな世界感。そのサウンドは、ジャズ、クラシック、ポップス、プログレ、現代音楽、クレズマー、ジャンルの垣根をいとも簡単に飛び越えてしまう。
作編曲家・ピアニストのshezoo (シズ) の生み出す楽曲を、壺井彰久 Akhisa Tsuboy (vln), 小森慶子 Keiko Komori (cl / bcl), 小林武文 Takefumi Kobayashi (per, drums), 4人の卓越したプレイヤーが演奏するアコースティック・カルテット。

2018 08月25日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

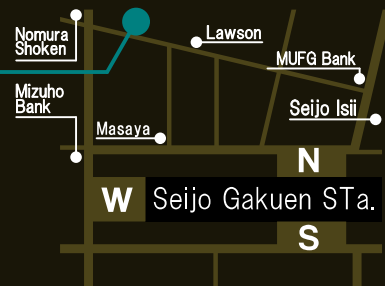
(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円 + 2drinks order

CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



壺井彰久 : violin



Shezoo : piano



小森慶子 : clarinet, bass clarinet



小林武文 : drums

ロックからケルト、アラブ音楽までをその驚異的なテクニックと美しいトーンで「奏破」するヴァイオリニスト。自己のプログレッシブロックバンド「KBB」を率い、アメリカ/フランス/ポルトガル/メキシコなどの海外フェスにも出演し好評を博した。KBBの活動と平行してEra(壺井彰久/鬼怒無月デュオ)、オオフジツボ、WAWAWAWA(吉見征樹リーダーバンド)、一噌幸弘グループ、Trinite等にも参加。アコースティックでの豪快で繊細なプレイに加え、エレクトリックヴァイオリンを使用した独創的な音作りでも世界から注目を浴びる存在である。
好きな食べ物：カフェブルマンのスパイシー・ナポリタン

<http://tsuboy.internet.ne.jp/>

作編曲家・ピアニスト
16歳でミュンヘン国立音楽大学に入学。CM、映画、映像、インスタレーション、アニメーション、ドキュメントなど、ジャンルを超えて多くの作品を生み出し、色彩と映像の浮かぶ音を心と細胞に届ける音楽家。
フリーすぎる現代音楽の危険な匂いのする音楽集団「シニフィアン・シニフィエ」、夜に内在する音楽を探す旅「夜の音楽」、「マタイ受難曲プロジェクト」、「puis-それから」アコーディオンの藤野由佳とのデュオ、「ユカシズ」ではcafeBeulmans吉岡氏の写真をテーマにした楽曲を制作するプロジェクトを進行している。

<http://trinite.me/>
<http://shezoo.cocolog-nifty.com/>

クラリネット、サクソ奏者。これまで日本国内のライブハウスにとどまらず『渋さ知らズ(在籍2000~2008年)』のほか、吉田達也率いる『高円寺百景』で北米やヨーロッパの音楽フェスティバルにも出演、さらに佐藤彦彦の『SAIFA』のメンバーとして2009年の『North Sea Jazz Festival』に出演。
現在は清水一登、小林武文とのトリオ『Ludus Tonalis』、坂田明、吉田隆一とのクラリネット即興トリオ『なりゆきのあなた』ほか、高円寺百景、トリニテ、FORTIS、パンチの効いたオウケストラのメンバーとして活動中。

<http://koikeraha.tumblr.com/>

ドラムセットをはじめ様々な打楽器を演奏。NHK Eテレ「大!天才てれびくん」での「パタパピテ ポタツピテ」等、作編曲も。自身のバンド「琴鼓'n管」の他、sardine head、小川美潮、林正樹"間を奏でる"、あまちゃんSPビッグバンドでの紅白歌合戦出場、「鬼太鼓座」へのゲスト出演等、多方面で活動中。

<http://shabahige.boo.jp/kobatake/>